

**令和２年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－
ワークショップ実施計画書**

制作団体名	公益社団法人上方落語協会
公演団体名	公益社団法人上方落語協会

内容
・上方落語と寄席のお囃子(出囃子・効果音)の解説を行い、落語１席を実演する。 ・希望者に高座へ上がってもらい、小唄や扇子や手拭い使ったしぐさを体験してもらう。 ・高座で太鼓やドラなどの和楽器に触れてもらう。 ・落語実演 ・質疑応答 (以下の内容は特定の落語家に限る) ・複数の生徒による大喜利(お題に対し、それぞれが回答する)の体験、あらかじめ体験者にはお題と回答を指導しておき、他の児童・生徒が見ている前で、実演する。

タイムスケジュール(標準)
・上方落語落語解説(30分) ・寄席囃子紹介(30分) ・落語実演(15分) ・質疑応答(10分)

派遣者数
・落語家２名、三味線１名 ・スタッフ３～５名

学校における事前指導
・友達同士でおしゃべりをしない ・笑うところはしっかり笑う ・場合によっては、体験参加者の事前調整 ・「寿命無」の暗記

令和２年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益社団法人上方落語協会
公演団体名	公益社団法人上方落語協会

演目

演目：「寿限無」、「転失気」、「動物園」、「時うどん」、「七度狐」など
児童・生徒が情景を容易に想像し、楽しめる演目を想定。

派遣者数

- ・落語家 4～5 名、三味線 1 名
- ・スタッフ 3～5 名

タイムスケジュール（標準）

- ・解説・落語（若手） 30 分
- ・落語（中堅） 15 分
- ・色物（太神楽、マジック、腹話術など） 15 分
- ・落語（ベテラン） 20 分

実施校への協力依頼人員

- ・舞台づくり 3 名以上

演目解説

「寿限無」子供が主人公のため、子供にもなじみやすい。

「転失気」知ったかぶりで失敗する内容がわかりやすい。

「動物園」設定が奇抜で、動物の仕草をふんだんに盛り込み、見て楽しい。

「時うどん」商売人の様子をイメージしやすく、客とのやり取りが滑稽である。

「七度狐」旅の道中、神の使いである狐に悪さをしたため、バチをあてられるストーリーが分かり易い。上方落語特有のハメモノ(効果音)も入り陽気な演目。

※本公演では鑑賞者の関心や理解度によって、上記以外の演目を選択する場合があります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

・小噺、しぐさ、鳴り物の体験

事前に暗記した小噺を舞台上で発表してもらう。落語家の補助のもと扇子・手拭いを使ったしぐさを舞台上で実際に演じる。幽霊の登場シーンを幽霊、太鼓、ドラをそれぞれ生徒・児童が担当し、演じる。

・大喜利の体験

大喜利のお題と回答を児童・生徒に指導しておき、代表者5名が舞台上で発表する。

・「寿限無」早口ことば競争

演目に登場する子供の名前(寿限無…)を暗記しておく。複数名の児童・生徒が舞台上で一斉に発表し、そのスピードを競う。

※舞台上に上がって演じることで、鑑賞者(他の児童・生徒、先生)の反応を見ることができ、楽しい体験であることを、アピールする。

※上記の内容を中心に、開催校との協議により決定します。

児童生徒とのふれあい

・質疑応答

・出演者との集合写真撮影